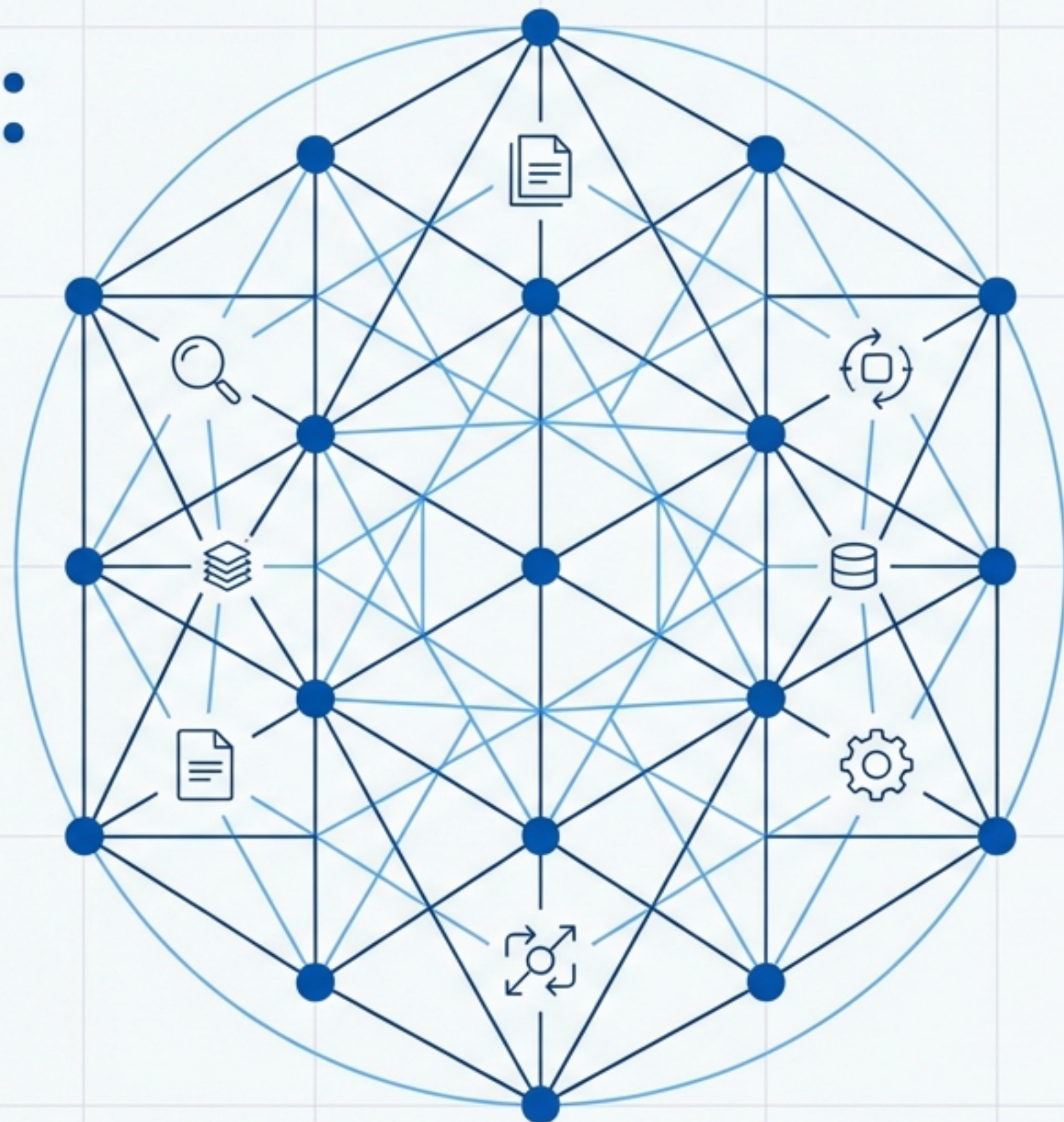


知的生産インフラの刷新： NotebookLM導入による 業務効率化プロジェクト

「調べる・読む」から「知識を創造する」
組織への転換

Project Proposal | 202X

Category: Business Process Transformation / AI Integration



エグゼクティブ・サマリー：AIとの共作による業務変革

現状の課題 (Challenge)



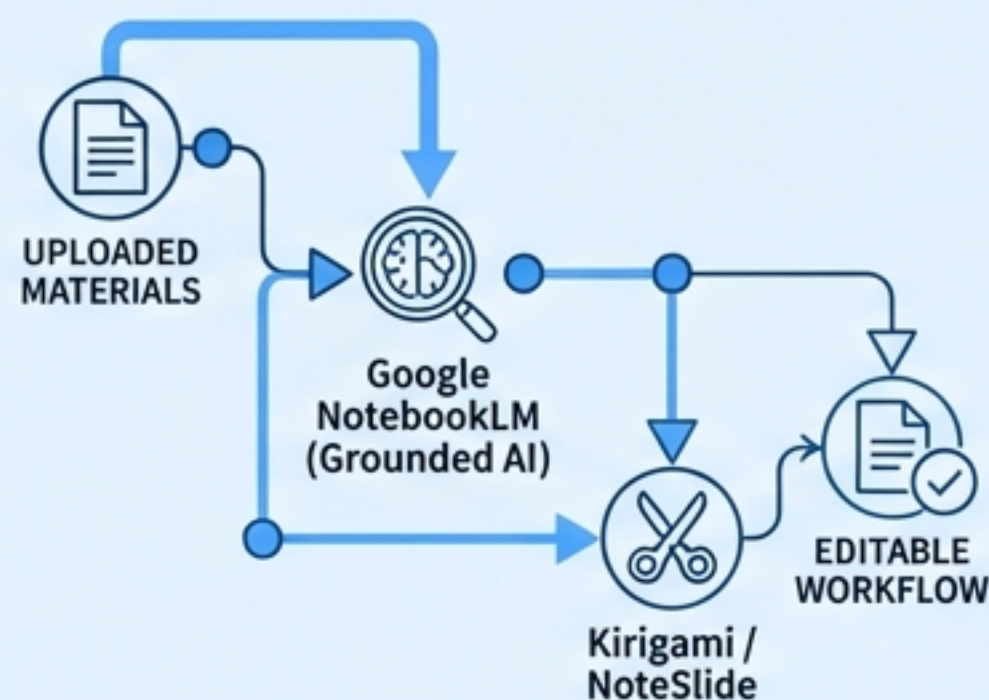
現状の課題 (Challenge)

- 情報過多によるボトルネック：文献の読み込みに時間を取られ、分析や意思決定が遅延。



- 既存AIのリスク：一般的な生成AIは「ハルシネーション（もっともらしい嘘）」のリスクがあり、業務利用の信頼性に欠ける。

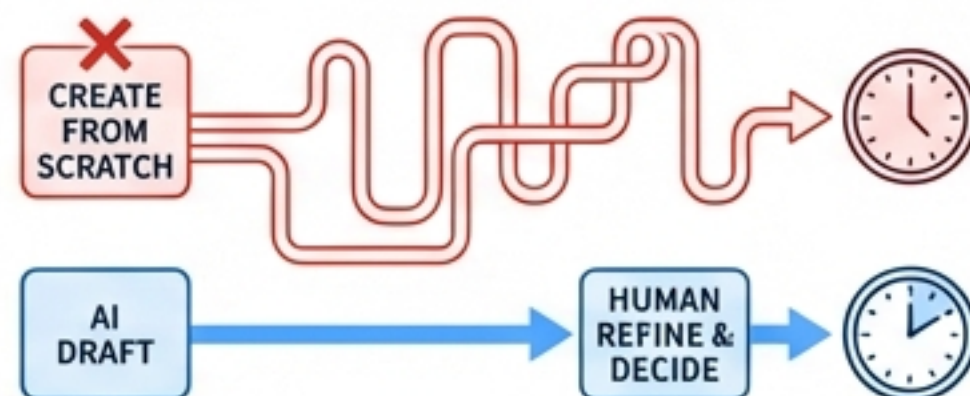
解決策 (Solution)



解決策 (Solution)

- Google NotebookLMの導入：アップロードした資料のみを根拠とする「Grounded AI」を活用。
- エコシステムの構築：PDF出力の弱点を補う変換ツール（Kirigami/NoteSlide）を併用し、編集可能なワークフローを確立。

目指す姿 (Goal)



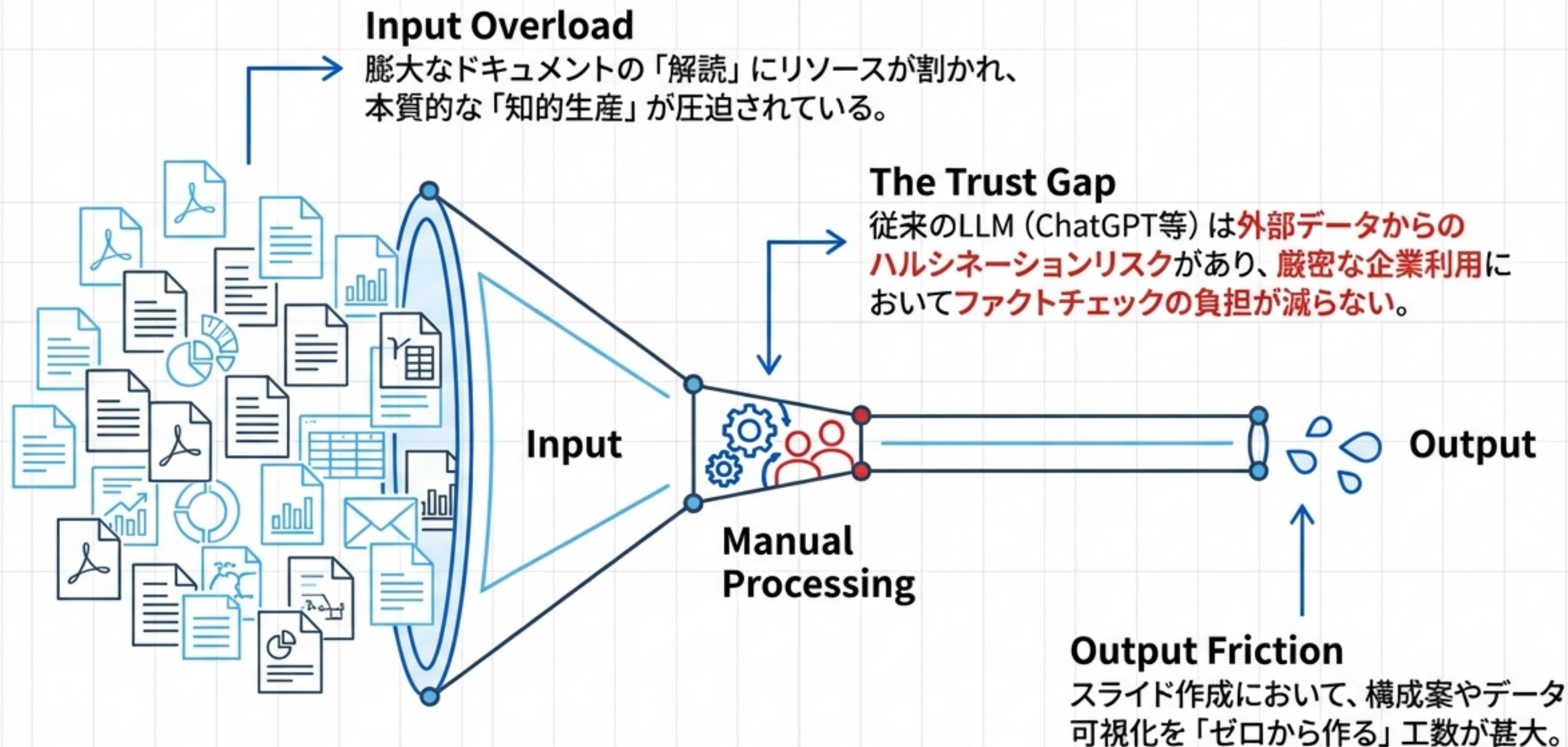
目指す姿 (Goal)

- 「ゼロからの作成」を廃止：AIがドラフトを作成し、人間は「修正・判断」に集中する体制へ。

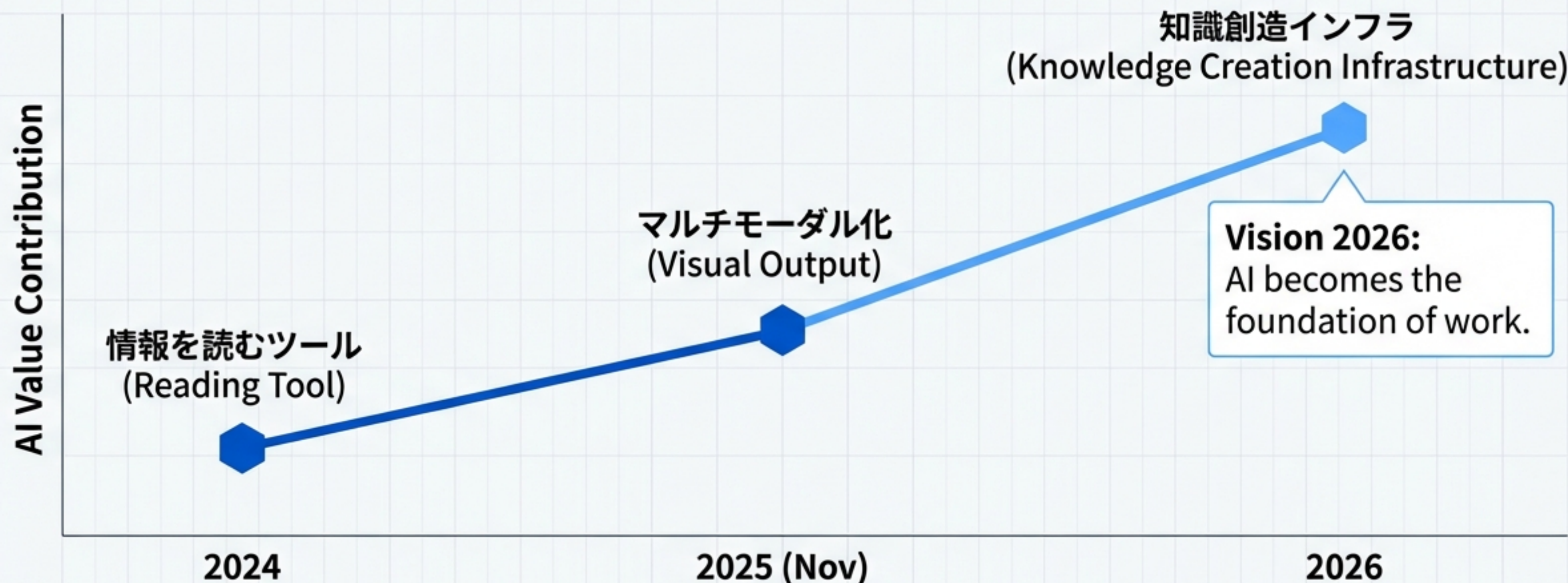


- 圧倒的な時短：資料作成時間を数時間から数分（5～10分）へ短縮。

現状のボトルネック：情報過多と「信頼性」のジレンマ



市場環境：2026年は「知識創造インフラ」への転換点

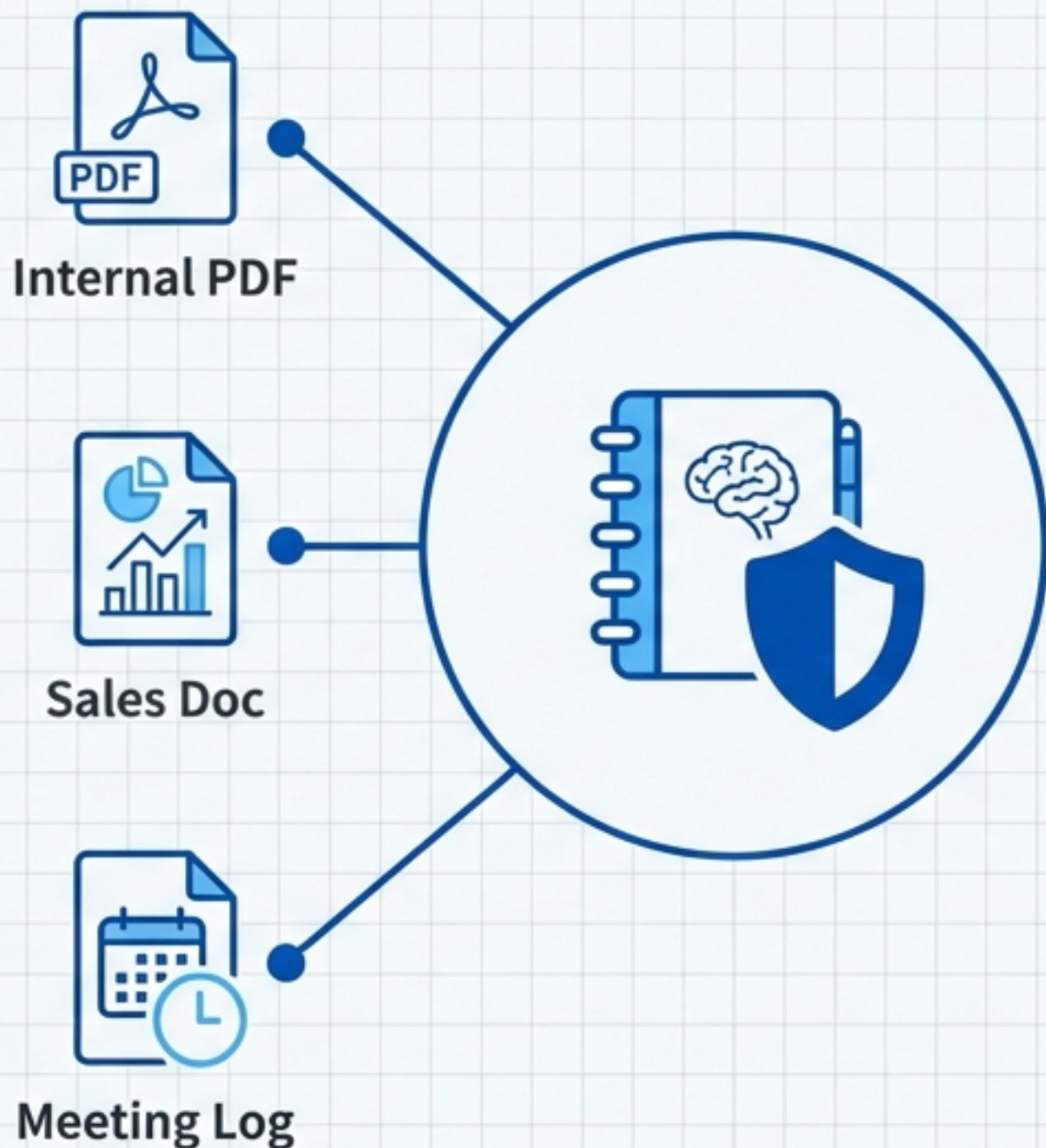


この転換期に「情報を読む」だけの組織に留まれば、知的生産の速度（Intellectual Velocity）において競合に劣後する。

ソリューション：NotebookLMが実現する「Grounded AI」

Role Definition

単なるチャットボットではなく、「リサーチ&資料作成専属アシスタント」として位置づける。



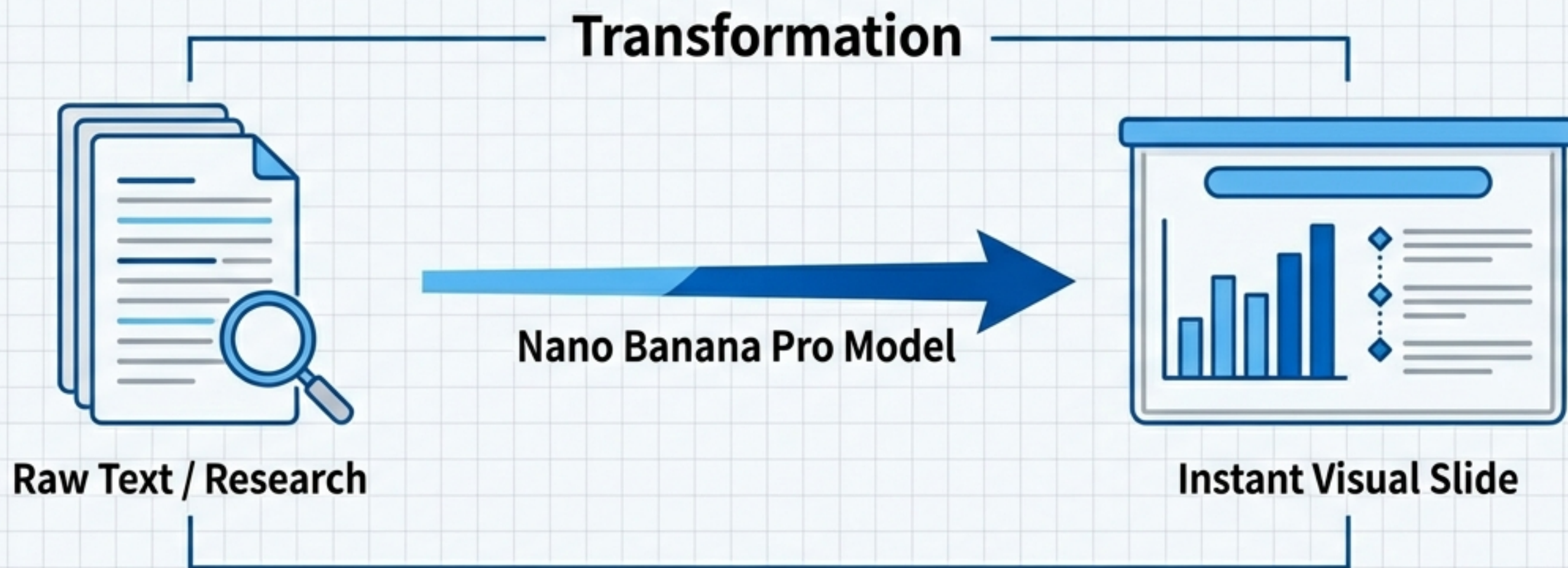
Grounded AI（根拠に基づくAI）

回答のソースをアップロードされた資料のみに限定。外部情報の混入によるハルシネーションを防ぐ。

Deep Research

Web全体調査と社内ナレッジを統合し、広範な調査レポートを自律的に生成。

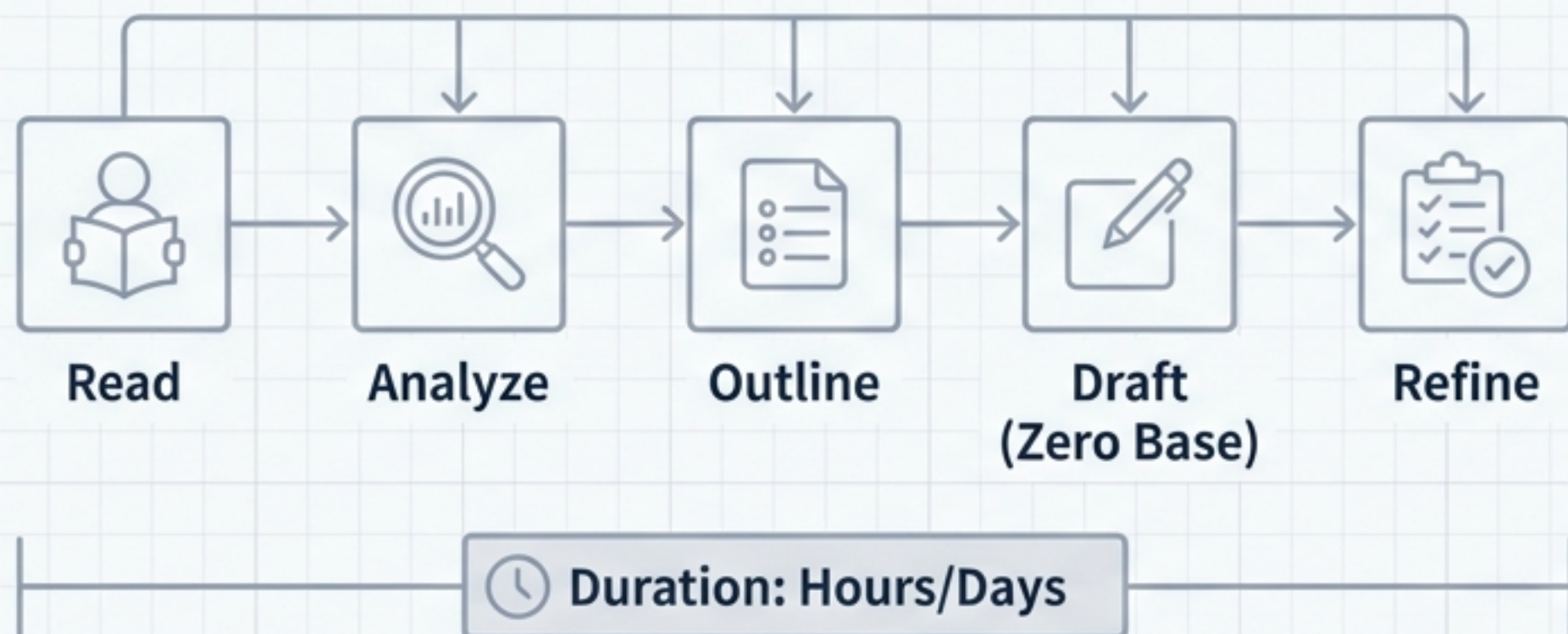
視覚化能力：テキストから「一枚絵」を即座に生成



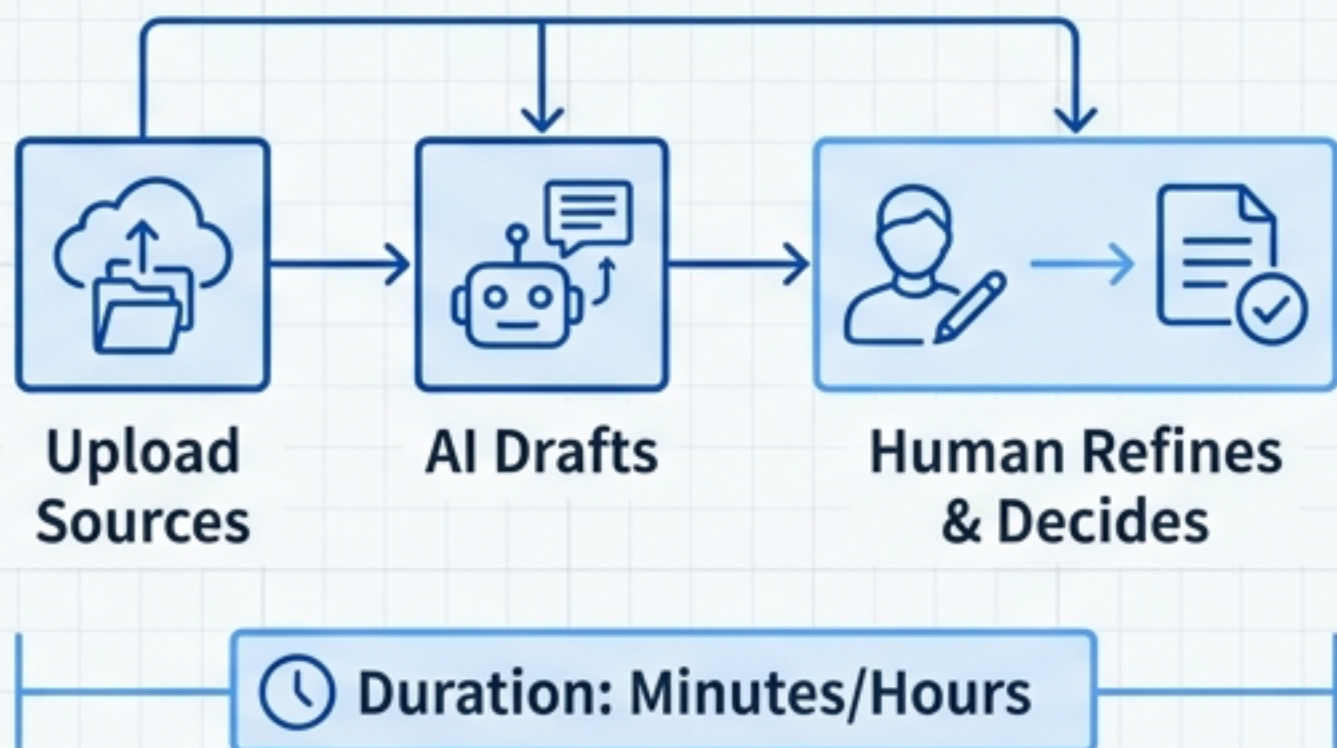
- Technology: 最新の画像生成モデル「Nano Banana Pro」を採用。
- Capability: 複雑なドキュメント内容を、視覚的に理解しやすい「スライド」や「インフォグラフィック」へ瞬時に変換。
- Consistency: キャラクターシート等の活用により、プレゼン全体でのトーン&マナーやキャラクターの一貫性を維持。

業務プロセスの変革：「AIとの共作」モデルへの移行

Old Workflow

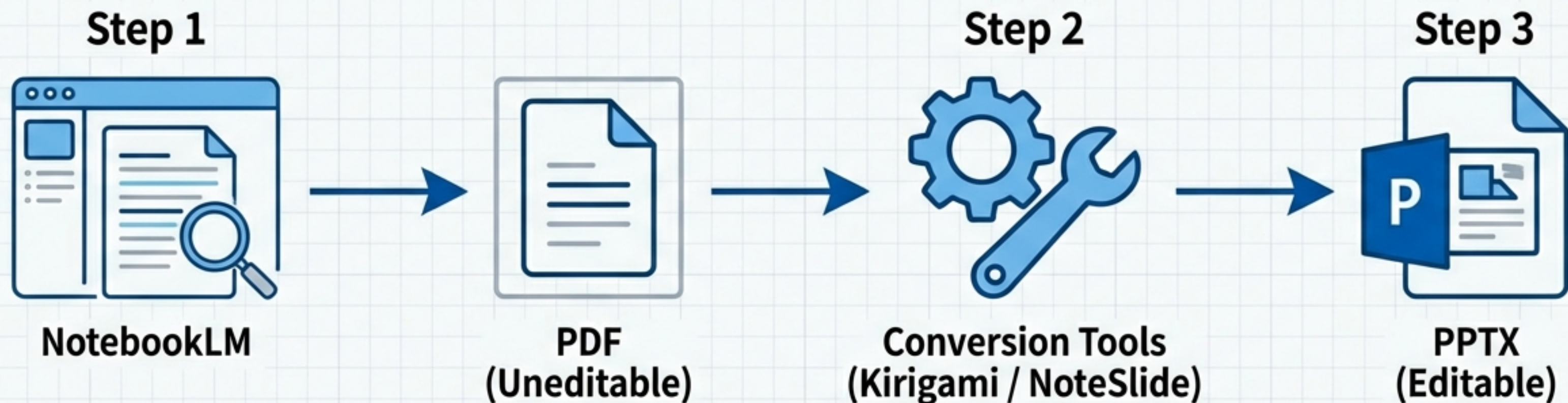


New Co-Creation Workflow



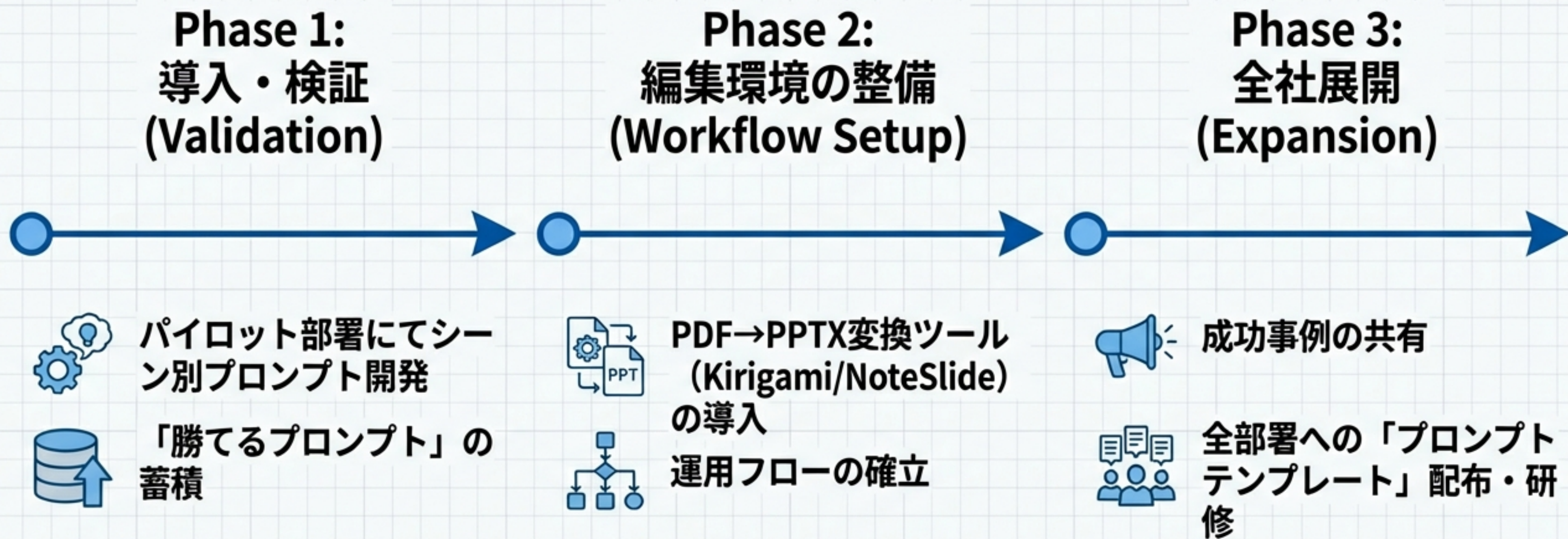
Human Role Shift: 「ゼロから作る」作業から解放され、
上位10%の「仕上げ（Editing）」と「意思決定」にリソースを集中。

実装課題の解決：エコシステムによる「編集可能性」の確保



- The Constraint: NotebookLMの標準出力はPDF形式であり、そのままではレイアウトやテキストの微修正が困難。
- The Ecosystem Solution: 変換ツールをワークフローに組み込み、文字潰れの補正やレイヤー分離を行う。
- Result: 実務で利用可能な完全編集可能なPowerPointファイルを生成。

導入ロードマップ：段階的な展開計画



必要なリソースとコスト構造

	Platform (Base)	NotebookLM（Google Workspace契約内で利用可能か確認）。初期導入コストは低い。
	Tools (Add-on)	PDF変換ツール（Kirigami/NoteSlide等）の利用料・クレジット購入費用。（NoteSlideは5枚以降有料、Kirigamiはクレジット制などを想定）
	Human Capital	プロンプトエンジニアリング研修、情報キュレーションスキルの習得コスト。

導入効果：圧倒的な時間短縮と品質の標準化

Quantitative Impact



5~10分

**ドラフト作成時間
(従来数時間)**

Qualitative Benefits



- **Accuracy:** 信頼できるソースのみを参照するため、事実確認（ファクトチェック）の手間を削減。



- **Strategic Shift:** 定型業務（議事録・研修資料）を自動化し、創造業務へのリソースシフトを実現。

結論：次世代の「知的生産インフラ」への投資

Summary:

NotebookLMは単なる便利ツールではなく、2026年の競争力を左右するインフラである。

Urgency:

将来の全自動化・マルチモーダル化の波に乗るため、今すぐ「使いこなすスキル」の蓄積が必要。

Action Request:

1. プロジェクトチームの結成承認
2. 変換ツール検証用のトライアル予算の確保



「情報を読む」組織から、「知識を創造する」組織へ。